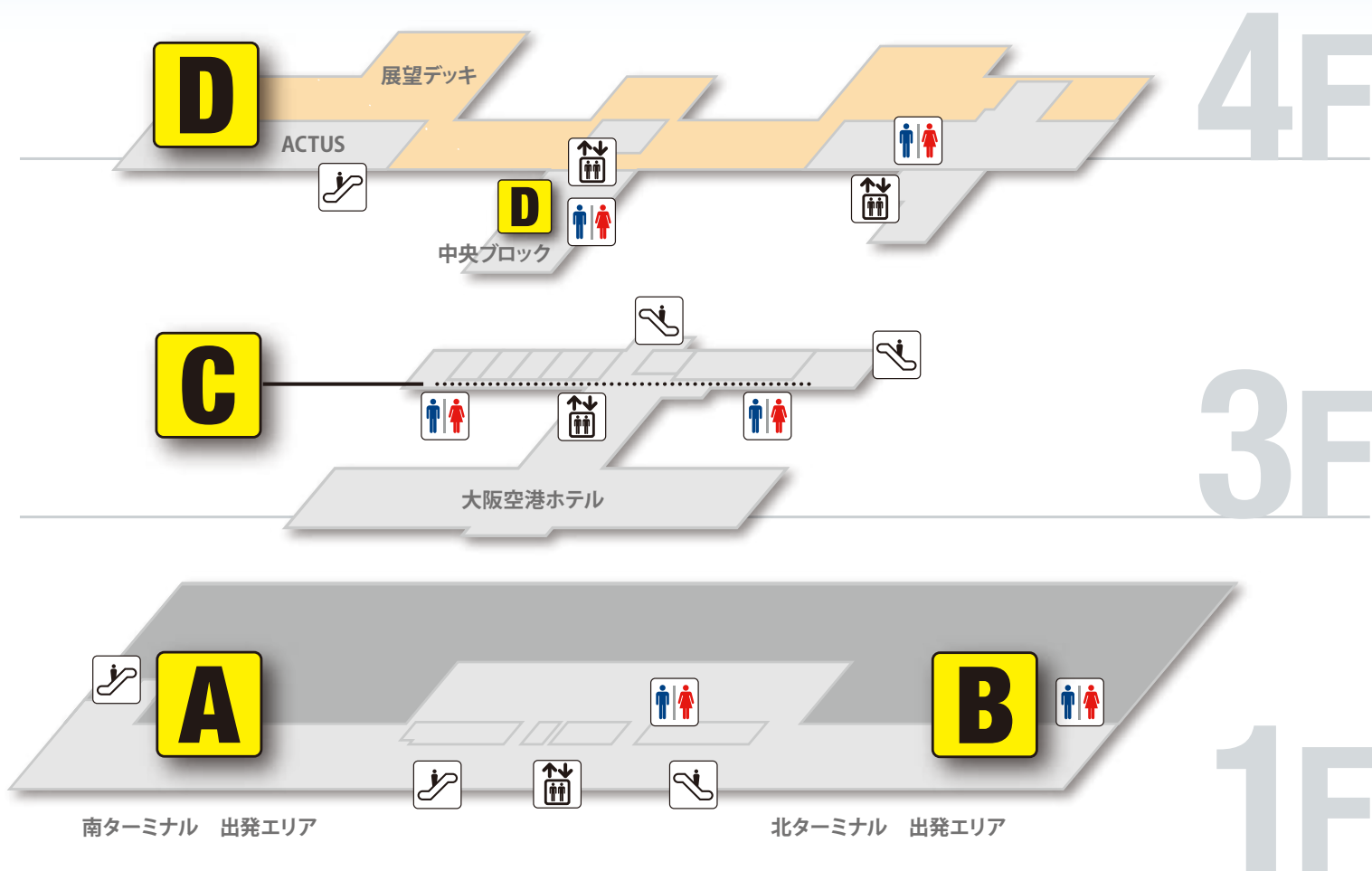


OSAKA INTERNATIONAL AIRPORT ART PROJECT
第1回 **おおぞら展**
EXHIBITION MAP / FLOOR GUIDE



A 南ターミナル1F チェックインロビー

京都精華大学

自由自治を建学の理念として開学し、昨年50周年を迎えた京都精華大学からは、芸術学部洋画、日本画、版画、テキスタイルの学生が参加しています。日々、旅立ち、別れ、出会い、そして再会を繰り返す「空の港」に4名が様々なストーリーを展開する様を、どうぞご高覧下さい。

C 中央ブロック3F 北側・南側通路
デジタルサイネージ

近畿大学

近畿大学文芸学部文化デザイン学科後藤ゼミは、パイロットやキャビンアテンダントのように脚光を浴びることは少ないけれど、空港を安全・快適に運営するために重要な役割を果たしている「縁の下の力持ち※」たちに焦点をあてた「動くポスター」シリーズを制作・発表します。(※人に限らず、機械やビクト・サインなども含む)

A B 南北ターミナル 1F

神戸芸術工科大学

南北ターミナルの展示会場では、プロダクト・インテリアデザイン学科の有志の学生らが作品を飾るための展示什器をデザインしています。人の流れや視線を緩やかに作品へと促すように120°の角度で空間を仕切るパネル什器となりました。作品と共にこの什器にも是非注目してご鑑賞ください。

D 南ターミナル・中央ブロック 4F
ACTUS

大阪芸術大学

空港を劇場に例えると、その舞台上では毎日いくつものオムニバスなドラマが繰り返されています。絵画や版画などの平面作品は、そのいくつかのドラマを客観的に定着させて永遠のものとして鑑賞者に平等に語りかけてくれる「窓」となります。表現の入り口に立つ学生18名が描いた「窓」を通して、空港で繰り広げられるドラマをお楽しみください。

B 北ターミナル1F 団体ロビー前

京都市立芸術大学

京都府画学校として1880年に創設され、芸術系大学としては国内でもっとも長い歴史をもち、実践的に伝統の継承と刷新の両方に取り組んできました。今回は構想設計専攻の学生を中心とする有志が、写真、映像など様々なメディアを用いて表現した作品を展覧します。

